



耕心 ～夢追いかけて～

佐世保市立吉井中学校

学校だより 第31号

文責 校長 川口 貴晴

令和2年10月15日(木)発行

中

【学校教育目標】自ら生きる力を培う生徒の育成

【めざす学校像】生徒一人ひとりの夢と志を育む学校

【一徳運動】「みそあじ運動（みなり・そうじ・あいさつ・じかん）」

心機一転！後期スタート！

9日に前期の終業式を行ったと思ったら、もう後期がスタートしました。3日間という短い秋季休業でしたが、十分に休養できたでしょうか。

今号では、前期終業式と後期始業式の様子を少しだけお伝えします。

前期終業式では、本校初の「リモート」によるライブ配信で式を行いました。今後も新型コロナウイルスの影響で何が起こるかわからない状況ですので、本校でも「リモート」による取組を経験しておく必要があるとの考えで実施しました。とにかく初めてのことで、失敗も多くありましたが、

何とか無事に終えることができました。前期の反省等を発表する生徒も自分が映る画面を見て、少々緊張気味でした。当然私は生徒以上に緊張し、表彰では随分かみしました。

前期終業式では、最初に各種大会の表彰、そして各学年・生徒会代表の「前期の反省」が述べられました。何度も練習したようで、堂々として大変立派な発表でした。

代表生徒は次の通りです。1年生：松永悠菜さん、2年生：島本乙葉さん、3年生：近藤 陽さん、生徒会：小村 愛さんです。「行事が延期になったりしたけど頑張ったこと」「部活動に燃えたこと」「生活面で少し騒がしかったこと」「家庭学習が足りなかったこと」などの成果と課題、後期への決意がしっかりと述べられました。私からは、始業式と



入学式で話した「耕心」と「みそあじ」の話を改めて行い、この思いを胸に刻んでさらに後期では頑張りたいという話をしました。

後期始業式は、終業式よりもスムーズに「リモ

ート」の操作ができるようになりました。しかし、写真が画面に映っていない等の課題も見つかりましたので、次回こそは完璧にできるように工夫します。

式の内容は、代表生徒による「後期の抱負」が述べられ、校長からの話と校歌清聴（CD音源を静かに聴く）でした。

代表生徒は、1年生：川端愛花さん、2年生：永留 耀さん、3年生：田中くるみさん、生徒会：大石廉真さんでした。いずれの代表も「後期の抱負」を堂々と述べました。中には、原稿を一切見ずに顔をあげて凛とした姿で決意を述べる生徒もいました。こんな姿を皆さんにもお手本にしてもらいたいです。抱負の内容は、「責任ある行動をする」「後輩のお手本となる先輩を目指す」「授業態度を改める」「復習に力を入れる」「



「伝統を受け継ぐ」「受験に向けて全速力で突っ走る」「悔いのない毎日を送る」などの素晴らしい内容でした。いずれも実現してほしい内容ですが、特に「責任ある行動」と「後輩のお手本となる」

ことは、すぐにでも実現してほしいと思います。

私からは、「本物」を目指すために「自立」と「自律」を達成してほしいと話しました。特に「自律」（自分の行動を律していく、我慢できる力。「やりたくても、やってはならないことは、やってはいけない」、「やらなければならないことは、やりたくなくてもやる」）が重要であることを話しました。

最後に、校歌清聴で閉式しました。後期初日は、寝坊な



どで遅刻してくる生徒もなく、よいスタートがきれました。

後期は、体育大会や修学旅行等、大きな行事が控えています。吉井中の全員で力を合わせて少しずつ「本物」に近づけるように努力していきましょう。先生方も全力で応援していきます！



運動も文化も頑張っています！

各種大会の入賞等おめでとうございます。
今後も大活躍してくれることを期待しています。

★男子ソフトテニス部

【長崎県新人大会佐世保市予選】

男子団体の部 準優勝 ＊県大会出場



★ジュニア俳壇・歌壇入選：長崎新聞（敬称略）

【俳句の部】

＊秀逸

「ほたる飛ぶ いつもの川の
ころもがえ」 3年 満潮 康大



＊佳作

「入道雲 負けじと育つ みんなの背」
3年 田中くるみ

「夏の海 思い出の砂 踏みしめる」
3年 前岳 伸孝

「氷溶け 薄い麦茶は 夏の味」
3年 小村 愛

「ラケットの グリップにじむ 夏の夕」
2年 中道 陸斗

「くらやみで 儚く消える 線香花火」
2年 濱崎 心結

「灼熱の 日々に吹き込む 夏の風」
2年 眞浦 太陽

「太陽で きらめくバット 空を切る」
1年 橋元 良介

「風鈴の 音色さみしく 夏終る」
1年 尾崎 心来

【和歌の部】

＊秀逸

「折り鶴の 形が少し 崩れても 君の願いは
きっと届くさ」 3年 田道 優良

＊佳作

「ジリジリと てりつけている 空の下
汗をぬぐって 麦茶飲み干す」
3年 川内野 鈴

「夏の夜 ふと星空を 見上げると
一筋の光 世界を灯す」 2年 柴田 光愛

「灼熱の 太陽のもと 風をきる 最後の夏へ
踏み出す一歩」 2年 古川 怜夢

「帰りたい 今年はコロナで 帰れない
夏の思い出 一つ無くなる」 1年 糸山 大海

「親も子も すいか両手で かぶりつき
種をとばして 記録更新」 1年 松瀬 怜奈

「妹と 私と庭の ひまわりと 背比べする
負けてたまるか」 1年 松永 悠菜



校区内クリーン作戦！大成功！

今日の5・6校時は、「校区内クリーン作戦」と銘打って、いつもお世話になっている校区内の清掃活動を行いました。この企画は、生徒会の美化委員会が中心となって、6月ごろから温めてきた構想を実現したものです。「いつもお世話になっている地域のために何かできないか？」「できれば保護者も巻きこんでの活動ができないか？」といった思いの中から実現した活動です。

当日は、武道館周辺や吉井駅周辺、自転車道路など6コースに分かれて活動しました。10名近いPTAや保護者の皆様の参加をいただき、無事に終了しました。たくさん集まったゴミの山を見て、生徒はなんだか誇らしげでした。

地域と共に生き、地域を愛し、地域を誇りに思える生徒の育成は吉井中学校の願いの1つです。このような活動を通して、地域を大切にする生徒の育成に今後も努めてまいります。

保護者の皆様も、今後もこのような企画を展開して参りますので、ご参加くださり、生徒と共に汗を流していただければと切に願っております。

Jr オリンピックカップに出場します

3年生の中川穂泉さんが、横浜市で行われる「JOC ジュニアオリンピックカップ全国中学生陸上競技大会 2020」の100m競技に出場する栄誉をいただきました。全国でベスト40に入った者だけに与えられる栄誉です。本当に素晴らしいの一言



です。自分の力で勝ち取った出場資格です。思う存分楽しんできてほしいと思います。

昨日、皆様からご賛同をいただいたPTAからの遠征費用への補助金を井手PTA会長からお渡しして

いただきました。また、吉井地区自治協議会様からも金一封をいただきました。皆様の温かい真心、本当にありがとうございます。

中川さんの感謝と決意の言葉を紹介します。

「今回、ジュニアオリンピックに出場します。まずは、感謝して走りたいです。コロナウイルスの影響で、全国大会も開催するのが難しい中、たくさんの方のおかげで、出場することができたので感謝の気持ちをもって走ります。大会参加に当たって、たくさんのご支援をくださった皆さん本当にありがとうございました。中学校最後の全国大会として、毎年悔いの残る走りしかできなかったもので、今年は悔いのない走りをして、日本一になります。応援よろしく願います。中川穂泉」

